

おおみぞこみぞつしん

<臨時発行版>



総門に

『古式水道の庭』ができました♪

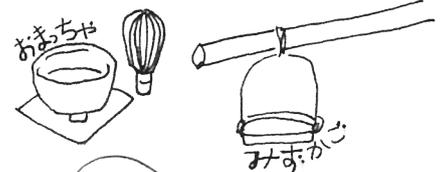
令和2年3月、総門を「大溝の水文化を発信する場」として活用するため、庭に湧水（「勝野井戸組合」管理）と山水（「日吉山山水組合」管理）の両方を引き込み、整備しました。新型コロナウイルスの影響で、長らくまちあるきツアーなどもしにくい状況が続いていますが、大溝の地に江戸時代より継承されてきた貴重な「古式水道」について、この場所から発信していきたいと思っています。

※裏面に「古式水道」の説明を記載しています。

『古式水道の庭』 おひろめ会 をします

文化の日!
日時: 11月3日(火・祝)
10時~15時
場所: 大溝陣屋
総門

地域の皆さんへ、整備した庭のお披露目をさせていただくと同時に、以下のような企画をご用意しています。お庭とつながる畳スペースにて、高島の戦国にまつわる史跡を紹介する動画の上映もしますので、どうぞゆっくりと総門でお過ごしください。



野立

総門のお庭に引き込んだ「古式水道」の湧き水で、お抹茶をお点てします。
300円(お菓子付き)

水にまつわる 古民具の 展示

昔、高島で使われていた龍吐水(りゅうとすい)や水籠(みずかご)などの生活道具を展示します。実際に触って使ってもらえます。

もったいない市

おうちで不要になったまだ使えるものたちを並べます。

お知らせ

先日、総門西側二階建て部分の外壁剥落防止緊急対策工事が実施されました。本格工事の時期は未定ですが、安全性に問題はありませんのでご安心ください。

発行
大溝の水辺景観まちづくり協議会
TEL 0740-36-2011
(10時~17時・水木休み)

「古式水道」とは？

大溝（現在・高島市勝野）では、城下町の人口をまかなうための生活用水を確保する必要があったこと、地下水に鉄分が多く含まれ井戸水の利用が出来ない地域があったことから、「古式水道」が整備されたと考えられています。「古式水道」とは、水を確保するため、遠く離れた水源から竹筒をつなぎ、要所に「サイフォンの原理」を利用したタチアガリと呼ばれる溜柵（ためます）をつくり、家々に水を配分した水道のことであり、その起源は江戸時代にさかのぼります。水源は二種類あり、ひとつは日吉山の山の端から出る山水、もうひとつは集落から数百メートル離れた場所に湧く、生水と呼ばれる良質の湧水です。下記に示すのは、山水を水源とした古式水道のしくみです。（この山水は、かつてこの地に陣屋を構えた分部氏が使用したと伝えられており、今も「殿さんの水」と呼ばれ親しまれています。）

古式水道のしくみ

